

# TOMORROW 2025

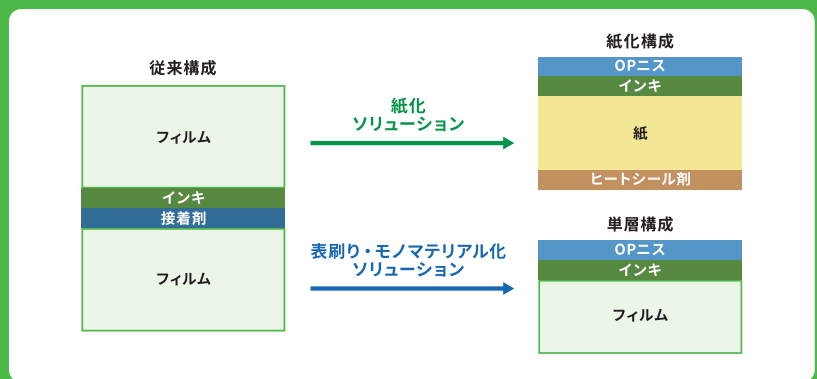
## パッケージ構成変更からのCO<sub>2</sub>排出量削減

フィルムパッケージは我々の生活を豊かにしてきましたが、持続可能な社会を実現させるため、未来のパッケージを考える必要があります。

様々な手法の組み合わせや新たな技術の開発による東洋インキグループの次世代パッケージのご提案をします。

### パッケージの構成はこうなっている！

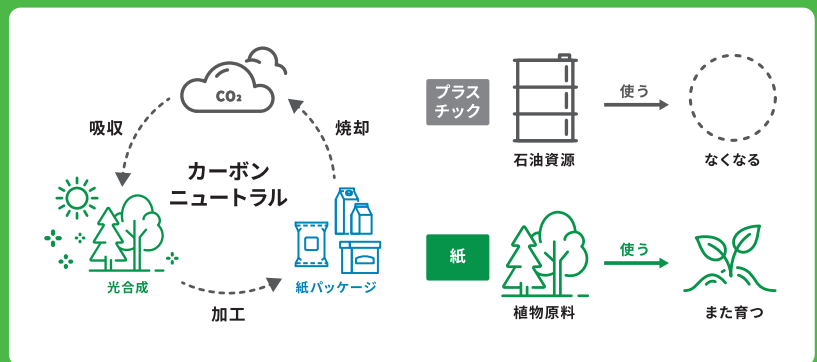
一般的なフィルムパッケージの構成は、内容物保護等の機能を発現するため異なるプラスチックフィルムが貼り合わされていることが多いです。プラスチックフィルムを再生可能原料である紙に変更する紙化ソリューションと、プラスチックフィルム積層構成から表刷り構成、モノマテリアル構成への変更を可能にし、CO<sub>2</sub>排出量削減とリサイクルをしやすい表刷り化・モノマテリアル化ソリューションをご紹介します。



### 紙化ソリューション

#### なぜ紙化なのか？

従来のプラスチックフィルム積層構成から再生可能原料である紙構成への変換により大幅なプラスチック量削減が可能となります。紙構成への変更を可能にする東洋インキ製品群をご紹介します。



### 表刷り化・モノマテリアル化ソリューション

#### なぜ表刷り化・モノマテリアル化なのか？

従来のプラスチックフィルム積層構成から、表刷り構成に変更することでプラスチック使用量を削減でき、CO<sub>2</sub>の排出量削減に貢献します。また、積層工程がなくなることで短納期化も実現します。表刷り化・モノマテリアル化を可能にする東洋インキグループ製品群をご紹介します。

